

第 565 回 放送番組審議会

1. 日 時 2020 年 7 月 21 日 (火) 午後 1 時 30 分～

2. 開催場所 テレビ岩手本社 6 階大会議室

3. 委員総数 9 名

出席委員 7 名

副委員長	佐藤 健志
委員	加藤 千晶
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝
委員	越沼 洋一

欠席委員 2 名

委員長	大橋 綾子
委員	緑川 智恵子

社側出席者	榎野 信治	(代表取締役社長)
	畑山 篤	(常務取締役 報道制作局長)
	池田 学	(取締役経営企画局長 兼 技術局長)
	小形 恵一	(営業局長 兼 営業部長)
	藤村 恵一	(報道制作局アナウンス部長)
	藤原 哲也	(報道制作局報道部長)

事務局	小岩 祥子	(編成局長 兼 編成部長)
	室田 幸治	(編成局編成部)
	黒澤 星	(編成局編成部)

4. 議 題

- ① ニュースプラス1いわて 月～金曜 18:15～18:54 内のコーナー
「いわてにエール!」: 4本 / 「フカボリ」: 1本

【放送日】

【テーマ】

「いわてにエール!」

- 5月21日(木) [どうなる高校サッカー、選手・監督の思い]
- 6月11日(木) [苦境に立つホテルの奮闘 (ホテル志戸平)]
- 6月25日(木) [さんさ踊り中止で… 太鼓と花笠の職人は]
- 7月1日(水) [七夕まつり中止の肴町 小さな七夕飾りへの思い]

「フカボリ」

- 6月12日(金) [コロナ、岩手はなぜでない?]

②その他

5. 資 料

- ① 自社制作番組放送スケジュール(2020年7月21日～2020年9月14日)
② 視聴者からのご意見(2020年6月分)

6. 意 見

委員側意見

①「いわてにエール!」

- 全体的に視聴者を元気づける内容だった。売り上げが減少する中、行き場を失った紙の花を商店街に飾りつけた花笠職人に温かい気持ちになった。
- 新型コロナウイルスは高校の教育現場や就労支援施設の活動にも大きな影響を与えていることが分かった。
- テーマごとに現状や課題がまとめられ非常に見やすいと感じた。お祭りに関連した伝統的なお店は歴史や文化の担い手だと改めて感じた。
- リニューアルしたホテルについて、ビュッフェの具体的な感染防止対策も知りたいと思った。一ヶ所だけでなく、規模の異なる他のホテル事情も合わせて取材をしてもよかったと思う。
- さんさ踊りや七夕まつりが中止になっても前を向いて仕事に取り組む職人の心意気が伝わってきた。高校サッカーについて、いわてグルージャ盛岡の選手のインタビューからのスタートではなく、選手権ができない、選手の進路影響、その後に構成した方がよかったと思う。
- コロナ禍での苦境を県民に広く伝えると共に岩手を応援する旗振り役として大きな意味を持つコーナーだと感じた。
- 今まで当たり前だったものがなくなるという状況の中で「仕事があるありがたさ」など改めて気づかされた。

②「フカボリ」

- 目新しい情報が無かったように思う。ただ岩手に誇るべき記録として今後も番組で解明を続けて欲しい。
- 県内外の人々、行政担当者、医療関係者など幅広く意見を取り上げていて分かりやすかった。
- 人口密度を県単位よりも市町村単位で見た方がより傾向が出る気がした。
- 長く時間をかけて研究するテーマだと思う。県内で感染者が一人でも確認された場合の対策を知りたい。
- なかなか答えが出にくくいろいろな見方ができるが、岩手県民は「感染防止の意識が高い」とあり、これが一番納得のいく説明でとてもコーナーの締まりが良かった。
- 「一人一人が基本的なことを守る」という県民性に同感した。科学的な根拠ではないがこのようなシンプルな理由でも視聴者は納得できたと思う。
- 緊張感がある中、このような企画を継続的に放送することは非常に意味のあることだと思った。
一方で、県内のPCR検査能力も含めて深掘りすればよりよかったと感じた。

局側意見

①「いわてにエール！」

- ビュッフェのオープンキッチンでの感染防止対策の部分の取り上げが不足していた。今後も“新しい生活様式”に合わせた接客の工夫や感染防止対策などを積極的に情報収集して伝えていきたい。
- 高校サッカーの構成について、取材担当者にご意見を頂戴したことを伝えたくて今後の参考にしていきたい。

②「フカボリ」

- 人口密度において、北海道は札幌で感染者が増えたが、初期段階では北部の小さい地域でも感染者がでた。青森県でも最初は八戸市で感染者がでた。これを理由に県庁所在地単位よりも県単位の方が良いと考えた。
- 感染者の確認がゼロでちょっとした安心感や油断があると感じている。先週の同コーナーでは感染者が極めて少ない県でも最近非常に増えてきていることを挙げ、注意喚起をした。
- 県内のPCR検査の能力についても先週の同コーナーで8月末までに増強されるため検査能力が上がるという見込みの数を伝えている。岩手県は全国的に検査件数が少ないと言われていたが検査能力が低いために検査件数が少ないということではない。今後も県民の皆さんに感染拡大防止につながる有益な情報を伝えていきたい。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日公表の方法

①自社放送 2020年7月28日(火)11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」

②テレビ岩手本社での備え置き

③読売新聞への掲載

④自社 HP での掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>